関係社外秘

# プロジェクト計画書

## 

## **1.プロジェクトの背景**

東京みらいAI＆IT専門学校に通う留学生にアンケートを取ったところ多くがコミュニケーションに対する不安、苦手意識があり、日本語を学習する場、機会が欲しい、また、漢字を学習する意欲が高いということが分かった。このことから本プロジェクトでは留学生が日本語の理解を深めるサポートができる学習支援システムを作成することとした。

## **2.プロジェクトの目的**

　留学生の日本語の学習をサポートすることで日本語の理解を深め、コミュニケーション力、語彙力を向上させる。また、日常的な喋り言葉を身に着け、学校内でのコミュニケーションを促進する。

## **3.プロジェクトの目標及び成功基準**

　留学生が利用できる学習アプリを実現することにより、以下の点を達成する

　・バグ0,実装予定機能をすべて実装

## **4.プロジェクトの成果物**

　・日本語学習アプリケーション

　・プロジェクト計画書

　・WBS

　・要件定義書

　・基本設計書

　・詳細設計書

　・画面詳細図

　・画面遷移図

　・テスト仕様書

　・エビデンス

**5.作業一覧**

　WBSを参照

**6.プロジェクト組織(チーム体制)**

・リーダー：村越 厚太

　役割：チーム全体の統括管理を行う。各担当者から情報を収集し状況を講師に報告する。

・サブリーダー/UI担当者：鈴木 彩音

　役割：リーダーの補佐を行う。リーダーが不在の際にはリーダーの代役を務める他、各担当者からの　　　　情報収集を一緒に行うなど、リーダーの負担が大きくならないように仕事を分担する。

・進捗管理者：浅生 凌輔

　役割：作業項目の抽出、作業の進捗状況の管理を行う。WBSの管理を行う。

　　　　納期、作業量など期間内の作業完了に影響を与える可能性のあることを課題として

　　　　管理し解決策の検討を推進する。

・営業担当者：イ　ファンギュ、緒方 大洋

　役割：プレゼン時のスピーカー、顧客に対してのヒアリングを担当する。

・品質管理者及び技術リーダー：水野 学

　役割：テスト仕様書の品質基準を定め、維持できるように推進する。開発時にチームが困った際の　　　　　相談口、開発分野でのリーダーとして担当する。

**7.管理方法**

・進捗会議は毎作業の終了の30分を使って実施する。

・課題管理は1〜2週に1回実施する。

　課題管理:課題管理表を利用する。課題内容、対応方針、状況を記入する

　課題の内容は要件定義書、設計書などにおいて解決に時間を要する課題を記入する

・品質管理は1〜2週に1回実施する。(製造工程～作成物にバグがないか確認)

　品質管理:主に製造に入った後、ウォーターフォールにしたがってチェックしていく

・欠席時はLINEで連絡。

　（忘れた場合は一回ごとに ご飯おごる）

・逐次作業をやった場合の報告もLINEで。

　（夏休み時）